

令和5年11月16日 立川市広報課

送付文書 計4枚

報道機関 各位

令和5年度立川駅前帰宅困難者対策訓練を実施します

1. 背景及び主旨

立川駅周辺の帰宅困難対策については、「立川駅前滞留者対策推進協議会」を設置して検討をしています。今回は、災害発生時に帰宅困難者を複数の一時滞在施設へ誘導・受入れ等が適切に行えるかの検証を目的とした「立川駅前帰宅困難者対策訓練」を行います。

訓練の参加団体は、公共交通機関、立川駅前滞留者対策推進協議会ほか、一時滞在施設職員などを予定しています。なお、市民の一般参加はありません。

2. 実施概要

■ 日 時：令和5年11月27日(月)

9時30分(開会式)から11時45分(閉会式終了予定)まで

【10時00分発災想定】

○主な動き

(1) 現地本部(立川市窓口サービスセンター)災害対策本部(市役所防災課執務室)間等の無線等による、情報共有体制のための情報伝達訓練を行います。

(2) 立川駅北口と南口において、訓練従事者による臨時案内所機材の運搬、設置開設、情報伝達等の運営訓練を行います。

(3) 警察官等の誘導により、帰宅困難者役が「10時00分発災位置～発災時待機場所～臨時案内所～一時滞在施設」へ移動する実動訓練を行います。

※別添 JR 立川駅周辺平面図(発災時班の位置)参照

【問い合わせ】

立川市市民生活部防災課長 仲沢 克之

TEL 042-523-2111 内線 2138

令和 5 年度立川駅前帰宅困難者対策訓練実施要項

1. 目的

立川駅周辺の帰宅困難者対策については、平成 23 年 6 月に「立川駅前滞留者対策推進協議会」を設置し、平成 25 年度から情報伝達訓練を主とした「帰宅困難者対策訓練」を開始した。平成 28 年度には帰宅困難者役を配するといった、より実践的な実働訓練を開始している。これらの経験を踏まえながら、帰宅困難者を一時滞在施設へ誘導・受入れ等が適切に行えるか検証することを目的とする。

2. 実施日時

令和 5 年 11 月 27 日(月)午前 9 時 30 分～11 時 45 分

3. 訓練想定

多摩直下を震源とした地震が 10 時 00 分に発生し、市内において最大震度 6 強を観測。鉄道等の公共交通機関が運行を停止し、立川駅周辺に多数の帰宅困難者が発生。

4. 訓練内容

○情報収集・情報伝達に加え、帰宅困難者役を配し誘導を行う実働訓練。

現地本部と災害対策本部間においてシナリオにもとづき、無線メール FAX による迅速な情報共有体制の構築を図るとともに、立川駅北口臨時案内所から一時滞在施設へ帰宅困難者役を誘導する実働訓練とし、以下の諸訓練も同時に行っていく。

- (1) 現地本部立上げ訓練（窓口サービスセンター）
- (2) 関係機関等における情報・伝達訓練
- (3) 駅前ライブカメラ等を活用した状況確認及び指揮命令伝達訓練
- (4) 一時滞在施設及び一晩滞在施設との情報・伝達訓練
- (5) 南口臨時案内所の設置訓練（コトリンク地下倉庫から機材搬出）
- (6) 北口臨時案内所の設置運営訓練
- (7) 帰宅困難者への情報伝達訓練
- (8) 一時滞在施設運営訓練（公衆無線 LAN へ接続確認）

5. 訓練参加機関（予定）

- ・立川駅前滞留者対策推進協議会
- ・財務省関東財務局東京財務事務所立川出張所
- ・女性総合センター施設管理者（立川都市センター、野村不動産パートナーズ）
- ・国営昭和記念公園施設管理者（国営昭和記念公園管理センター）
- ・立川地方合同庁舎施設管理者（立川地方合同庁舎）
- ・立川拘置所
- ・立川市（図書館、男女平等参画課、生活安全課消費生活センター係、生涯学習推進センター、市民課窓口サービスセンター係、広報課、地域文化課、防災課）
- ・一時、一晩滞在施設（公共・民間）

6. 当日スケジュール(予定)

8 : 50 受付開始(アイムギャラリー)

9 : 30 開会式(アイムギャラリー)

10 : 00 発災 (訓練開始～)

11 : 30 閉会式(アイムギャラリー)

11 : 45 閉会式終了

JR立川駅周辺平面図(発災時班の位置)

